

# 七よやま

No. 164  
議会だより  
3月定例会



楽しい おしゃべりテラス+

(関連記事P16)

## 令和5年度 キラメキ事業 ..... P2・3

最大規模の当初予算 ..... P4・5

議案PICK UP ..... P6・7

7人が一般質問 ..... P8~15

輝く人を紹介 町のキラッと ..... P16

議会のインターネット中継が始まりました

- ・定例会(初日)
  - ・一般質問
  - ・議案質疑(3月のみ)
  - ・定例会(最終日)
- ご覧いただけます

豊山町議会  
【公式】  
チャンネル



町のホームページから  
会議録がご覧いただけます

<https://www.town.toyoyama.lg.jp/>



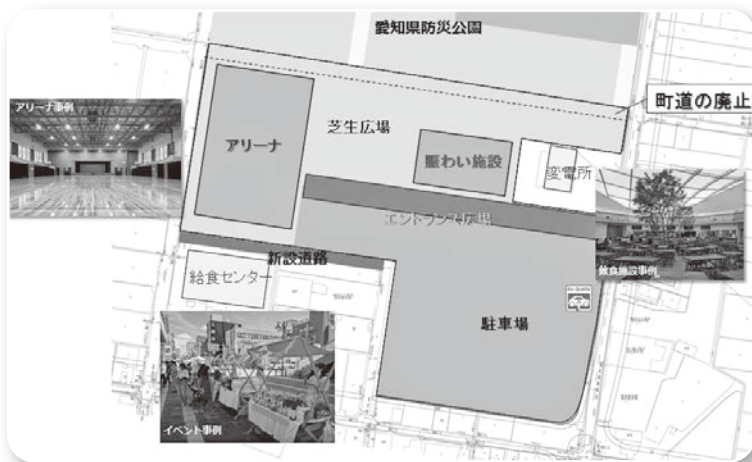
# 令和5年度予算 キラメキ事業



## 避難所・賑わい施設整備

8億7683万円

- ・避難所、賑わい施設を含む都市公園を新たに整備
- ・造成などの基盤整備設計や用地取得など



## 子ども110番の家 マップ作成

65万円

- ・子ども110番の家を通学路に増設し、小学校区ごとのマップを作成



## 就労継続支援B型事業所へ移行

1160万円

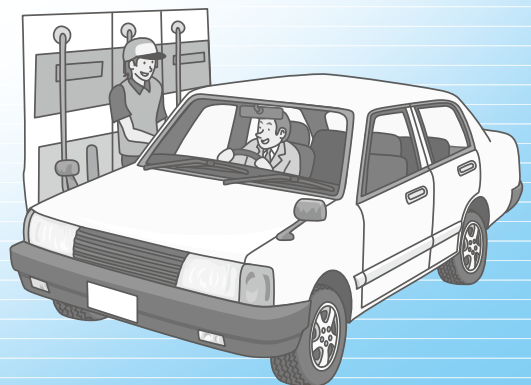
- ・福祉作業所を就労継続支援B型事業所に移行
- ・運営者の社会福祉協議会に設置基準を満たすための改修工事、初期投資費用、運営費の不足分を補助



## 障がい者交通料金 助成拡大

300万円

- ・自動車燃料費助成を利用できるガソリンスタンドの範囲を町外でも利用できるよう拡大



◎万円で端数調整をおこなっています

キラメキ事業

3月定例会

議案 PICKUP

一般質問

## おたふくかぜ 予防接種費補助

56万円

・予防接種費用の一部を補助

対象年齢	回数	補助額
1歳から2歳未満	1回	2000円
小学校入学前の1年間(年長児)	1回	2000円

※おたふくかぜにかかった方、年長児で2回以上接種している方は対象外

## 若年がん患者の ターミナルケア支援事業

65万円

- ・住み慣れた自宅で安心して療養生活を送ることができるようサービス利用料の一部を補助
- ・がん患者や家族の心理的経済的負担を軽減

補助対象サービス	補助額
訪問介護 訪問入浴介護 福祉用具貸与 福祉用具購入	補助対象経費の 9割相当額を補助  上限額5万4千円/月

## 行政サービスの利便性向上

472万円

- ・オンライン手続のキャッシュレス決済の導入
- ・町公式LINEで受信設定機能の拡大、防災無線との連携、予約サービスの機能追加



## プレミアム付商品券事業

3383万円

- ・紙の商品券に加えて、電子式の商品券を発行
- ・プレミアム率 30%
- ・販売額 1冊 5000円  
(額面 6500円)
- ・発行冊数 14000冊



## 子ども記者プロジェクト

176万円

- ・豊山町の魅力や課題に触れる取材体験や新聞制作体験
- ・子どもたちが自ら取材先を選定



## 子ども議会

5万円

- ・子どもたちが町政に関心を持ち、未来の豊山町を考える機会にすることを目的に開催

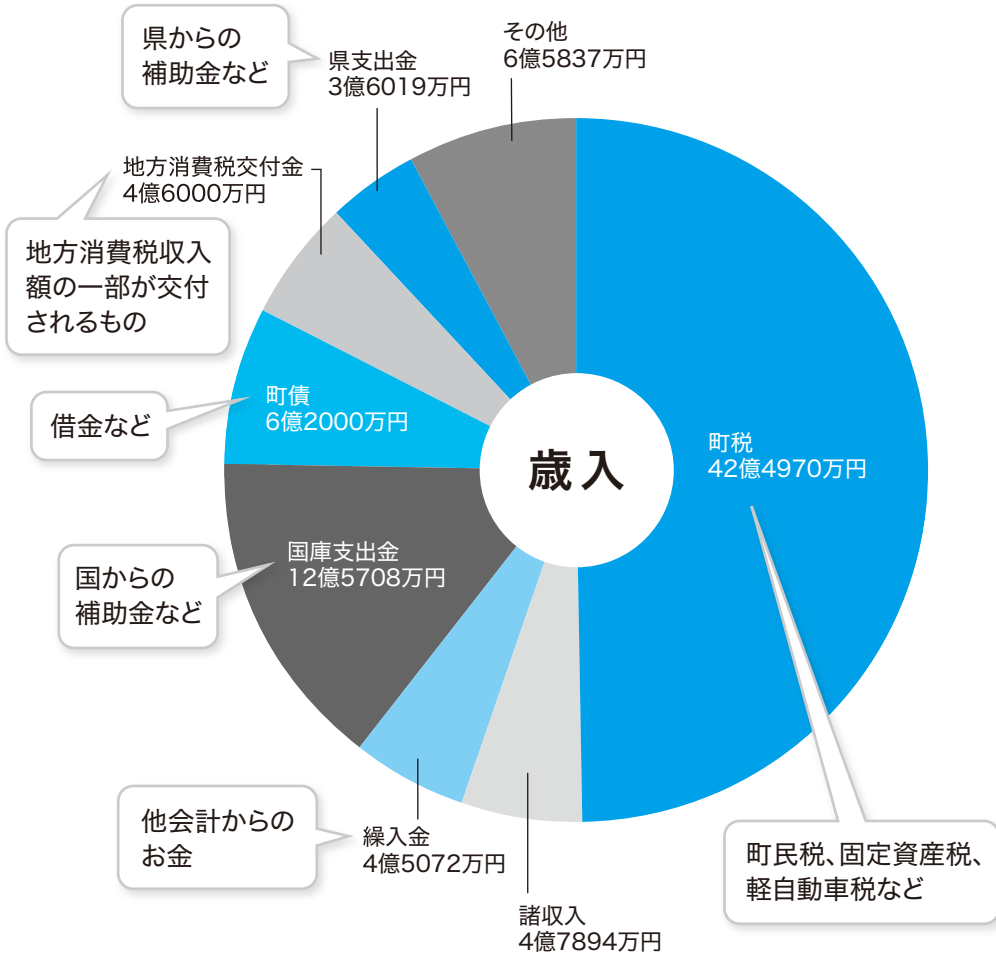


# 新時代の豊山町へ

令和5年度  
一般会計  
予算

全員賛成 認定

予算額 85億3500万円



3月  
定例会の  
あらまし

令和5年第1回定例会が3月6日から23日まで開かれました。工事請負変更契約の締結、人事案件、町道路線の認定、条例の制定・部改正、令和4年度一般会計・特別会計補正予算、令和5年度の一般会計・特別会計予算など、合わせて33議案が上程され、いずれも原案通り承認・可決されました。また、議員発議による「豊山町議会個人情報保護に関する条例の制定」「保育士の配置基準改善を求める意見書」が可決採択されました。

キラメキ事業

3月定例会

議案PICKUP

一般質問



## 特別会計 予算状況

会計名	予算額
国民健康保険	13億2485万円
後期高齢者医療	2億5837万円
介護保険	11億452万円
介護サービス事業	345万円
公共下水道事業	7億98万円

◎万円で端数調整をおこなっています

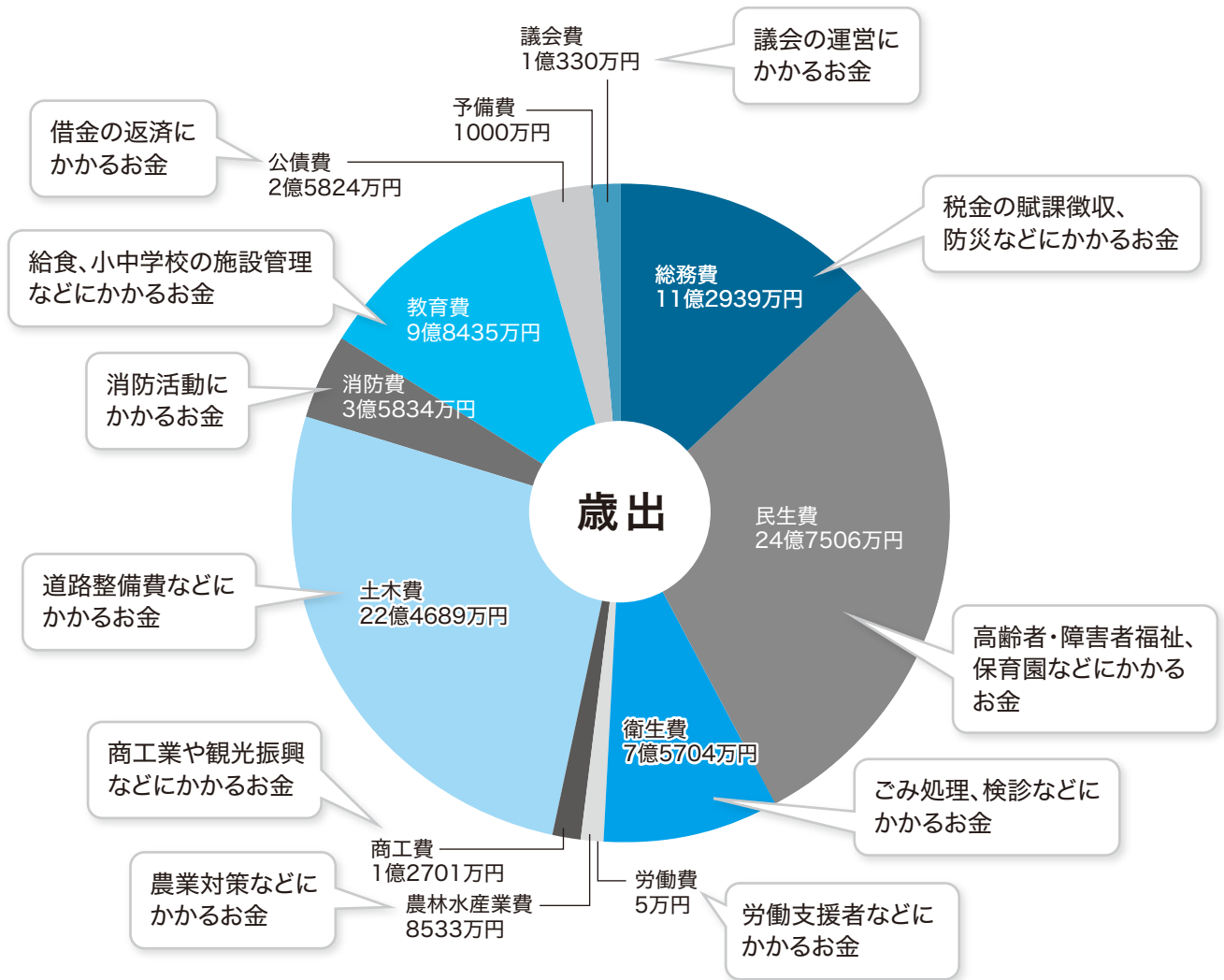
# 最大規模の当初予算

キラメキ事業

3月定例会

議案PICKUP

一般質問



## 令和5年度に行う主な事業

- 避難所・賑わい施設整備事業 …… 8億7683万円  
(基盤整備設計や用地取得)
- 防災拠点周辺町道整備事業 …… 2億811万円  
(町道117号線の拡幅用地取得、無電柱化電線共同溝・都市公園周辺町道整備詳細設計)
- 放課後子ども教室事業 …… 2943万円  
(実施日数を週5日・実施時間を午後4時30分まで拡充)
- 豊山中学校改築基本計画策定事業 …… 687万円  
(具体的な中学校改築基本整備計画を策定)
- 小学校施設整備事業(トイレ設計) …… 1592万円  
(新栄小学校・志水小学校のトイレ改修の設計)
- 電気自動車・急速充電スポットの導入 …… 1078万円  
(電気自動車を導入し、役場庁舎に急速充電スポットを設置)

## 令和5年度補正予算

一般会計	85億7912万円 (4412万円増額)
------	-------------------------

## 令和4年度補正予算

一般会計	83億2719万円 (3238万円減額)
国民健康保険特別会計	13億5379万円 (財源更正)
介護保険特別会計	11億370万円 (3500万円増額)
公共下水道事業特別会計	7億96万円 (6312万円減額)

# 議案 PICK UP

定例会で審議された議案や事業をピックアップして、その中身や質疑を詳しく説明します。

## 議案一覧

令和5年第1回定例会(3月)

番号	議案	審議結果
議案第1号	工事請負変更契約の締結	賛成8反対1可決
議案第2号	工事請負変更契約の締結	賛成8反対1可決
議案第3号	固定資産評価審査委員会委員(水野浩)の選任	全員賛成同意
議案第4号	固定資産評価審査委員会委員(坪井浩司)の選任	全員賛成同意
議案第5号	道路線の認定	全員賛成可決
議案第6号	情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例の制定	全員賛成可決
議案第7号	個人情報の保護に関する法律施行条例の制定	全員賛成可決
議案第8号	歯と口腔の健康づくり推進条例の制定	全員賛成可決
議案第9号	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正	全員賛成可決
議案第10号	職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正	全員賛成可決
議案第11号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	全員賛成可決
議案第12号	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正	全員賛成可決
<b>議案第13号</b>	<b>国民健康保険税条例の一部改正</b>	<b>賛成8反対1可決</b>
議案第14号	子ども・子育て会議条例の一部改正	全員賛成可決
議案第15号	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	全員賛成可決
議案第16号	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	全員賛成可決
議案第17号	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	全員賛成可決
議案第18号	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律施行条例の一部改正	全員賛成可決
議案第19号	国民健康保険条例の一部改正	全員賛成可決
議案第20号	心身障害者手当支給条例の一部改正	全員賛成可決
議案第21号	都市公園条例の一部改正	全員賛成可決
議案第22号	町営住宅条例の一部改正	全員賛成可決
議案第23号	令和4年度一般会計補正予算(第8号)	全員賛成可決
議案第24号	令和4年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	全員賛成可決
議案第25号	令和4年度介護保険特別会計補正予算(第3号)	全員賛成可決
議案第26号	令和4年度公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	全員賛成可決
<b>議案第27号</b>	<b>令和5年度一般会計予算</b>	<b>全員賛成可決</b>
議案第28号	令和5年度国民健康保険特別会計予算	賛成8反対1可決
議案第29号	令和5年度後期高齢者医療特別会計予算	全員賛成可決
議案第30号	令和5年度介護保険特別会計予算	全員賛成可決
議案第31号	令和5年度介護サービス事業特別会計予算	全員賛成可決
議案第32号	令和5年度公共下水道事業特別会計予算	全員賛成可決
議案第33号	令和5年度豊山町一般会計補正予算(第1号)	全員賛成可決
発議第1号	議会個人情報の保護に関する条例の制定	全員賛成可決
発議第2号	保育士の配置基準改善を求める意見書の提出	全員賛成採択

議長は議決には加わりません 太字は次項に掲載

キラメキ事業

3月定例会

議案 PICK UP

一般質問

# 国民健康保険税条例の一部改正

- 令和5年度から国民健康保険税が約4%増額
- 基礎課税額の上限額を63万円から65万円に、後期高齢者は19万円から20万円に引き上げ

- Q** 愛知県に支払う事業費納付金が増えた理由は何か。
- A** 県の剰余金が枯渇し、国からの調整交付金も減少したためである。



# 令和5年度一般会計予算

## いじめ・不登校への対応

1812万円

小中学校の不登校人数

令和元年度	41人
令和2年度	59人
令和3年度	60人
令和4年度 (1月末時点)	65人

- Q** 不登校が増えているがどのように取り組んでいくのか。
- A** 未然防止のため、スクールソーシャルワーカーとの連携を密にする。生徒指導に関する教職員の研修を実施する。

## 家庭系ごみの実態調査

126万円

- Q** 調査委託料について説明を求める。
- A** プラスチック類の分別・収集方法を検討するため、家庭から出される可燃・不燃ごみ実態調査を実施。資源となるものの割合を分析する。



可燃ごみ排出状況

## 避難所・賑わい施設整備

8億7683万円

- 避難所や賑わい施設を含む都市公園を新たに整備

- Q** 避難所・賑わい施設の維持管理費はどれくらいを想定しているのか。
- A** 年間約5000万円を見込んでいます。

一般質問  
ラインナップ

# あなたの思い、議会へ

一般質問とは、町が行っている事業や計画について議員が住民に代わって質問したり要望を伝えたり、今後の町のあり方について議論、提言することである。

3月13日(月)7人が質問に立った。  
一問一答方式で、制限時間は答弁を含み1人60分。

議会だよりには、太字のみ掲載

1	大口 司郎	●洪水対策について	P.9
2	作野 桂子	○町のリーダーシップを ●子どもたちの参画を ○質の高い教育をみんなに ●資源を大切にする取り組みを ○なかよし会の開始時間見直しを	P.10
3	岩村みゆき	●ひとり親を孤立させないために ●アフターコロナの高齢者対策は	P.11
4	岡島 剛	●消防団員の確保について ●デジタル人材について	P.12
5	山本 亮介	●豊山配水場におけるPFAS検出問題への町の対応	P.13
6	坪井 孝仁	●部活動について (小学校での廃止、中学校での地域移行) ○学校施設改築・長寿命化計画について	P.14
7	岡島 政信	●ごみ減量に向けて	P.15

◎全文記録(議事録)は、6月上旬に町ホームページに掲載しますのでご覧ください。





おおぐち しろう  
大口司郎 議員  
OGUCHI Shiro

# Q. 洪水対策について

## A. 各種基準に基づき計画を行う

**Q** 現在の杉の木川、久田良木川、堂前川の河道の状況はどうか。洪水時の水位は実際にどれくらいなのか。

境川の改修計画の概要は、

基幹的広域防災拠点の下流部の中江川へ樋管で放流されると聞いているが、進捗状況は。

**A** 産業建設部長

杉の木川、久田良木川、堂前川は、昭和51年度に策定した全体計画に基づき、10年に1回程度発生する雨に耐えられるよう、改修を順次行っている。近年、計画策定当時の降雨量より多くなっているため、全体計画の見直しを行い、流下能力を有していることを確認している。

境川には、本町との境界部分が未改修の状況となっている。名古屋市に委託し、令和4年度より10年に1回程度発生する雨に耐えられるよう、改修を行っている。基幹的広域防災拠点からの雨水排水を中江川に流す下水道管きよは、県が施工することとなり、既に工事発注がなされている。

**Q** 境川の洪水に対する安全性はどうか。想定されている確率降雨はどうか。溢水のおそれはないのか。河道に余裕は設けられているのか。

同様に、杉の木川、久田良木川、堂前川の洪水に対する安全性はどうか。防災拠点下流部の中江川樋管までの排水路や樋管の洪水に対する安全性はどうか。

**A** 産業建設部長

境川、杉の木川、久田良木川、堂前川の確率降雨は、10年に1回程度発生する雨である1時間63ミリである。改修計画の策定においては、河川管理施設等構造物など各種基準に基づき計画を行う。余裕高は、適正に設けている。

中江川までの排水路の確率降雨は、5年に1回程度発生する雨である1時間52ミリで、これに耐えられる大きさの管きよ整備を計画している。余裕率は適正に見込んでいます。

**Q** 久田良木川排水機場について、改修工事の内容を

説明願いたい。現況毎秒10m<sup>3</sup>が、毎秒13m<sup>3</sup>増強されると聞いたがその効果は。毎秒13m<sup>3</sup>増強の根拠は。

「新川流域総合治水対策」「流域水害対策計画」で何か制限を受けるのか。解消する計画はあるのか。

**A** 産業建設部長

排水機場は毎秒10m<sup>3</sup>の能力で供用している。しかし、基地内の形質変更や都市化による流出量の増加により、ポンプゲートを設置し毎秒23m<sup>3</sup>へ増強する。効果については、床上浸水の解消を図る。改修工事は、名古屋市に委託し、工事を進めている。

新川・五条川の水位が上昇し、越水・破堤の恐れがあるとき、破堤による壊滅的な被害を避けるため、新川流域排水調整要綱に基づき、排水停止を行う場合がある。

大山川については、河川改修や調節池の整備が河川整備計画に位置付けられているので、早期に完了するよう、継続的に要望を行っている。

**Q** 中江川に設置した樋管の性能について、排水の能力はどの程度のものなのか。この樋管についても「新川総合治水対策」流域水害対策計画」の制限を受けるのか。

基幹的広域防災拠点について、地元への説明や姿勢について、たびたび疑問視されることもあった。青山地区の洪水に関して、豊山町として地域住民への適切な説明を繰り返し、住民が不安に思っていないようにしていただきたい。

**A** 産業建設部長

中江川の樋管からの放流量は、新川流域水害対策計画に基づき、中江川の能力や下流域で氾濫が生じないよう毎秒2.325m<sup>3</sup>で許可を受けている。

基幹的広域防災拠点から排出される雨水は、この条件を満たす水量を抑える対策として、雨水調整池を設けるなど、住宅地に配慮した計画になっている。今後も地域住民の不安解消のため、適切に対応してまいります。

# Q. 共用できる物を 学校備品にしては

# A. 学校に働きかけていく



さくのけいこ  
作野桂子 議員

SAKUNO Keiko

キラメキ事業

3月定例会

議案PICKUP

一般質問

SDGsの目標期限、2030年まで後7年しかない。

「これさえやっておけば良い」という模範解答がなく、行政・企業・市民・地球に住む全員が知恵を絞って取り組むべき課題である。町は「ワン・モア・アクション」町民が何か一つでも行動を起こせるよう、積極的に活動を促していく必要がある。

**Q** 使用年数が限定される算数セットや使用回数が少ない彫刻刀などの教材のうち、共用できる物は学校備品にしてはどうか。

**A** 教育委員会事務局長  
算数セットのうち、プラスチック製の時計などの共用化など見直しを進めている。今後、更に共有できる教材がないか、リユースを含めて学校に働きかけていく。

**Q** 一部の学校で実施されているように教材や制服のリユースを実施し、ものを大切にすることを育む取り組みを



してはどうか。特に、中学生の制服は早期実施を望む声が多くあるが、どうか。

**A** 教育委員会事務局長  
これまで未実施の学校には情報提供をするなど、次年度以降の開催を支援していきたいと考えている。

**Q** 南館ひまわりで実施されている「おしゃべりテラス」では、交流だけでなく、保育園や幼稚園グッズや子ども服などがリユースされ好評である。一時期しか使用しないチャイルドシートなどのレンタルを実施してはどうか。

**A** 生活福祉部長  
利用者の声を踏まえ、赤ちゃん用品のレンタルやリユース事業について関係部署などと共に検討したい。

# Q. 子ども条例を策定しては

# A. 条例の制定について研究する

日本では、令和5年4月1日にこども家庭庁が設立され、こども基本法が施行される。

子どもたちは、大人や社会から見守られて育てられる存在であると同時に、小さいながらも町民として大人と共に社会を担うパートナーである。大人と子どもが一緒に町の未来を考え、一緒に活動する経験を通して育つからこそ地域への愛が育ち、豊かなまちづくりにつながると思う。

**Q** 子ども条例を策定するべきか考えるが町の考えは。

**A** 生活福祉部長  
今後は「こども基本法」の趣旨を踏まえ、町が行う子ども施策の内容やその方向性を定めていく中で条例の制定について慎重に研究していく。

こどもや若者のみなさんは、一人ひとりが大切な存在です。みなさんが自分らしく健やかに幸せに成長できるように、社会全体で支えていくことがとても重要です。そこで、大人が中心になっていたこの国や社会のかたちを「こどもまんなか」へと変えていく司令塔として、こども家庭庁という新しい組織をつくることになりました。

こども家庭庁設立準備室「こども家庭庁について」より抜粋





いむら  
岩村みゆき 議員  
IWAMURA Miyuki

# Q. アフターコロナの 高齢者対策は

## A. 新たな施策を検討したい

新型コロナウイルス感染症による外出自粛、イベントや講座の中止が与えた高齢者への影響はとて大きいと感じている。

**Q** 地域包括支援センターの健康づくり・介護予防の教室は現在、100%開催されているか。

**A** 生活福祉部長  
「元気教室」をはじめとする6教室は、令和4年度は100%開催している。参加人数も令和3年度は延べ845人だったが、令和4年度は令和5年2月時点で1077人であり増加傾向にある。

**Q** 町主催のサロン、社会福祉協議会のサロンは、どれくらい開催されているか。

**A** 生活福祉部長  
町主催のサロンは令和3年度、9回の開催だったが、令和4年度は毎月開催しており、参加人数も増加傾向にある。

豊山町社会福祉協議会の元

気はつらつサロンは、令和4年度は毎月開催している。

なお、オレンジカフェについては、運営方法の見直しを検討中であるため、未開催の状況となっている。

**Q** 新型コロナウイルス感染症の高齢者への影響をどう捉えているか。

**A** 生活福祉部長  
様々な影響が出ていると推察する。通所系サービス給付費は減少し、訪問系サービスの給付費は増加している。また、要介護・要支援者認定数が増加している状況である。

**Q** ひとり暮らし高齢者へ新たな施策が必要では。

**A** 生活福祉部長  
令和3年度から、65歳以上のひとり暮らしや高齢者のみの世帯を対象に、高齢者登録制度を実施している。

今後については、新しい生活様式の状態を踏まえながら、新たな施策について検討していきたい。

# Q. ひとり親へやさしい周知を

## A. 周知や内容の充実に努める

**Q** やむを得ずひとり親になる方、突然、ひとり親になる方がおられる。寄り添う支援策として、町の制度、県の制度、社会福祉協議会の制度が一枚にまとめられた、名古屋市内にあるような「ひとり親支援ポケットガイド」を作成してはどうか。

**A** 生活福祉部長  
ひとり親家庭への支援策については、町のホームページ

「じゃ子育て支援アプリ」kikotto」に、支給される各種手当のほか、相談窓口などを紹介している。

また、児童扶養手当に係る現況届の提出をお願いする際には、愛知県やハローワークの制度を併せて案内している。今後は、子育てに関する情報を集約した子育て支援アプリの更なる周知や内容の充実に努めてまいります。



# Q. 消防団員の確保は



おかじま つよし  
岡島 剛 議員

OKAJIMA Tsuyoshi

# A. 充実・強化に務める

キラメキ事業

3月定例会

議案 PICKUP

一般質問

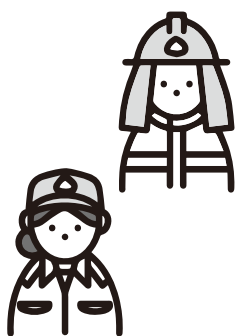
◎ 消防団員の高齢化や消防団員数の減少が、全国的な問題となっている。現在、豊山町では消防団員が定足数を満たしているが、今後、消防団員の不足や高齢化が懸念される。

豊山町消防団には5名の女性消防団員があり、そのうち1名は県操法大会出場メンバーとして練習に励んでおり、大変頼もしく感じている。

女性消防団員の登用が必要だと思いが、どう考えているのか。今後の消防団員の確保、消防団の役割や活動についてどのように考えるのか。

**A** 企画調整部長

消防団は、消火活動のみならず、地震や風水害などの大規模災害時の救出活動や避難誘導など、本町の防災活動における重要な役割を担って



県操法大会出場に向けて猛練習

いる。団員の確保は、町民の安心・安全を守るために必要不可欠と考える。

女性消防団員の登用は、団員確保の観点から、また、女性の視点による救助やケアなどの活動の観点からも、大変効果が高いものと認識している。

一般団員も含めて、広く女性消防団員の参画を呼び掛けるとともに、引き続き、若者に対して入団促進のPR活動を行うほか、新たに民間事業所への協力要請などを開始し、消防団の充実・強化に努める。

# A.Q. デジタル人材の確保は

# A. 人事担当と連携し取り組む

◎ 令和5年2月に豊山町DX推進計画が示された。この計画では、少子高齢化への対応や行政コスト削減に向け、行政手続きのオンライン化、業務の省力化・効率化などを目的としている。

これらの目的を実現していくためには、デジタルに関する専門知識を持った人材が欠かせない。

本町のように小規模な自治体には、デジタルに関する専門知識を持った職員は少ないと思いが、どのような対応を考えているのか。

**A** 企画調整部長

令和5年2月からデジタルの専門的な知見を持つ外部人材として、総務省のICT地域マネージャーを務められる方に、本町のICT監理アドバイザーを依頼した。令和

5年度からは、DX推進のためのシステム調達や情報システム標準化に関する技術的な助言、支援をいただく予定としている。

人材の育成については、職員全体のデジタルリテラシーの向上を図るため、令和4年10月にDX推進研修と情報セキュリティ研修を行った。

今後は、人事担当と連携を図りながら、職員のデジタル技術への理解とそれを活用できるスキル向上に向けた取り組みを進めていく。





やまもと りょうすけ  
山本亮介 議員  
YAMAMOTO Ryosuke

# Q. PFAS検出、町の所感は

## A. 県や水道企業団と連携し対応

PFAS（ペーファス）とは、4730種類もの有機フッ素化合物の総称である。

今回はそのうちPFOS（ペーフォス）とPFOA（ペーフォア）を取り上げ、その総称をPFASと呼ぶ。PFASは耐熱性や耐薬性に優れており、フライパンの表面加工、撥水剤や泡消火剤として幅広く使用されている。また、環境中や生物の体内で分解されにくく、高い蓄積性がある。

豊山町と北名古屋市に水道を供給している北名古屋水道企業団が令和3年3月、豊山配水場を調べたところ、浄水で1リットルあたり150ナノグラム、原水で1リットルあたり175ナノグラム検出され、厚生労働省が定めた暫定目標値を上回った。

そのため、北名古屋水道企業団は令和3年3月17日、豊山配水場からの配水を停止している。今後は安心・安全を最優先と捉え、継続的な水質試験を実施し安全が確認されるまでは配水を再開しないこと

と、試験結果については都度、情報提供に努めていくとしている。

豊山配水場からPFASが検出された件について、町としてはどのような所感を持っているか。

**A** 生活福祉部長

環境省と厚生労働省が策定した「PFOS及びPFOAに関する対応の手引き」によると、水質検査の結果、暫定目標値を超えるPFOSやPFOAが検出された場合は、経年的な推移を把握することが望ましいとされている。

水道企業団は、この「手引き」に基づき、これまで5回の水質検査を実施している。令和3年9月に実施された2回目の検査では1リットルあたり54ナノグラムが検出されたが、3回目、4回目、5回目の検査では目標値を下回る結果となっている。

一部の住民の方からは不安の声が届いているが、現在の水質検査では目標値を下回っていること、有機フッ素化合

物に関する対応基準が曖昧なことから町としてはその対応に苦慮しているところである。

引き続き、愛知県や水道企業団と連携を取り対応してまいりたいと考えている。

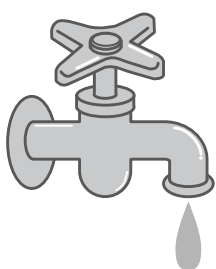
**Q** 沖縄では、地元市民団体の「有機フッ素化合物汚染から市民の生命を守る連絡会」が昨夏、宜野湾市や嘉手納町など6市町村の住民387人を対象に血中濃度検査を実施した。いずれの市町村の住民の平均血中濃度も、環境省が2021年に実施した全国調査の平均値を大きく上回り、うち27人は、ドイツの専門機関が、健康上のリスクが生じ早急に曝露量を減らす必要性があると指摘する濃度を上回った。豊山町でも住民団体が6月から血液検査を実施するという報道もある。

この問題は第一義的には汚染源となっている事業者やそれを監督する県や国の責任だと思っている。そこで、国や県に対し、汚染源や汚染時期

の調査、血液検査や健康実態の調査を求めることを要望するが、どうか。

**A** 生活福祉部長

町としては、北名古屋水道企業団が定期的に行っている豊山配水場での水質検査の結果を注視しており、今後継続的に暫定目標値を上回るような結果が出た場合には、国や県に調査を要望してまいりたいと考えている。なお、国において、令和2年度に、水道法における有機フッ素化合物の位置づけが見直され、現在、必要な情報・知見が収集されているところである。今後も愛知県や水道企業団としっかり連携を図りながら、豊山配水場の水質検査結果や国の動向を注視していく。



# Q. 部活動の地域移行は

## A. 生涯学習審議会で審議



つぼい たかひと  
坪井孝仁 議員

TSUBOI Takahito

キラメキ事業

3月定例会

議案PICKUP

一般質問

豊山町は小中学校の部活動が盛んな地域特性がある。部活動の在り方を考えるうえで、教育現場と保護者、地域と競技関係者との十分な協議が欠かせないことや、適切な指導を担っていただける人材や活動の場所の確保が重要である。

小学校の部活動は、教員の働き方改革をふまえ、令和5年3月末には小学校の部活動の廃止が決まっている。豊山町の地域特性の一つでもある小学校の部活動が新たな受け皿がない状態で廃止されることは非常に残念である。

中学校の部活動は、平日の一日と土日のどちらかを休養日としている。一部の部活動は土日の休養日に地域の方のご尽力によって指導をいただいていると聞いている。

現在、教員の負担軽減には部活動の縮小、出勤時間や学校行事の見直し、子供たちの登校時間の変更によって一定の効果があったと聞いている。本町の部活動改革は令和7年度末に地域移行を目指し、令

和3年度に発足された教育委員会主導の総合型地域スポーツ・文化クラブの新規プログラムを充実させながら、受け皿となる組織に徐々に移行する方針を掲げている。

スポーツ庁と文化庁は、令和4年12月に指導者不足や体制づくり、活動場所の確保などの観点から、令和7年度末で達成するとしていた

目標設定の見直しがされた。国の方針が変わり、本町での児童生徒の部活動の地域移行への取り組みの現状と、今後の方針について聞く。

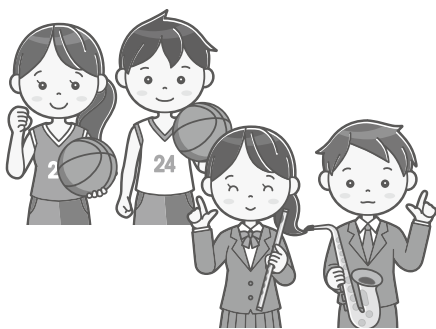
また、さらなる働き方改革が必要と考え、チーム担任制の導入を提案する。

**A** 教育委員会事務局長  
小中学校ともに部活動の

あり方について議論されるその目的の一つとして、教員の多忙を解消し、本来の業務である教材研究や授業準備に十分な時間と労力を費やし、より質の高い教育の実現を図るところにある。

小学校の部活動は「総合型地域スポーツ・文化クラブ」を受け皿の一つとし、令和4年度に小学生を対象とする「ユニバーサルスポーツ教室」と「アレンジフラワー」を新たに追加し、拡充を図ったところである。令和5年度は、新たなプログラムとして「吹奏楽」「バスケットボール」「スポーツレクリエーション教室」を新設することを予定している。さらに、関係諸団体をはじめ学校との連携を図りながら、生涯学習事業である「わくわくくらぶ」などの拡充を図っていく。

中学校での部活動の地域移



行は、関係団体との連携をはじめ、指導者や施設の確保、各種大会の在り方など対応すべき課題は数多くあるが、子どもの視点を軸として議論を進めていく。中学校の部活動は、長年にわたり、生徒がスポーツ・文化に親しむ機会を確保し、その活動の中で責任感・連帯感の涵養や自主性の育成にも寄与するなど、その意義は誰もが認めるところである。

今回の見直しは、休日の部活動から段階的に地域へ移行していくことを基本とするものである。現在、生涯学習推進審議会において、中学校の部活動の地域移行を中心課題として、本町における生涯学習体系の再編を視野に入れ、生徒の休日におけるスポーツ・文化活動の機会の確保について審議しているところである。

なお、実効性のある働き方改革を進めるために、チーム担任制などの新しい取り組みについても参考とさせていたいただきたいと考えている。



おかじままさのぶ  
岡島政信 議員  
OKAJIMA Masanobu

# Q. プラスチック回収方法の変更を

## A. 分別、収集方法を検討

令和4年5月に行われた町政に関する住民懇談会の資料には「ごみの排出量が54市町村中45位」「ごみのリサイクル率は54市町村中35位」であること、また「地域のサロン活動においても、ごみ減量について担当職員の説明を受け、皆で話し合うなど関心が高いこと」が明記された。

このことから、ごみ減量に向けて、長い目で見て、今から着実に根の張った解決策を進めて行く必要性を強く感じたので、質問をする。

◎ 家庭系ごみ排出量において、一人一日あたりの推移は、平成27年度、6100g、平成30年度、614g、令和2年度、620gとほぼ横ばい状態となっている。



減少に転じていくには、町民への更なる意識づけなどが必要と思う。特に、町の未来を担っていく子どもたちへの意識づけは、非常に重要である。当局の考えは。

◎ きれいなまちづくり条例が令和4年10月1日から施行された。これは、協働によるきれいなまちづくりの推進のため、快適な生活環境の確保に寄与することを目的としている。

◎ 引き続き、小さなお子さんも対象にした事業や啓発を充実していきたい。

◎ きれいなまちづくり条例が令和4年10月1日から施行された。これは、協働によるきれいなまちづくりの推進のため、快適な生活環境の確保に寄与することを目的としている。

快適な生活環境の確保を

現するために、町民などを巻き込んだ事業を実施しては。

◎ 名古屋市の令和6年4月からプラスチック一括回収を行うと発表した。豊山町も回収方法を変更してはどうか。

◎ 名古屋市の令和6年4月からプラスチック一括回収を行うと発表した。豊山町も回収方法を変更してはどうか。

◎ 名古屋市の令和6年4月からプラスチック一括回収を行うと発表した。豊山町も回収方法を変更してはどうか。

方法は、令和4年4月に施行された法律を踏まえ、町民の皆さまがプラスチック類を一括で排出できるよう、ルート確保や資源収集の仕組みについて調査、検討を進めている。

◎ 名古屋市の令和6年4月から、プラスチック類の収集方法を一括収集へ変更する予定である」と聞いている。



ごみ焼却を行っている名古屋市北名古屋工場

# ママがクッス〜!

サークル名「mama♡kusu」 渋谷 杏実

mama♡kusuは2021年3月12日より活動を始めたサークルです。子育てママのための何かをしたいという想いが、ずっと胸にありました。「何か」を探る中で、7年前より産院のビクスやヨガでお世話になっていたインストラクターの菱山佳世子さんご縁が繋がりがり、子育て中のママの息抜きを目的としたエアロビクスサークルを作ることができました。

何でもない日常会話をしながら、学生時代の部活動のように一緒に汗を流して過ごす2時間。運動をした達成感と、身体は疲れるのに何故か気持ちがいスッキリ過ごせる爽快感がとても好きです。最初は少なかった参加人数も回を重ねていく毎に増えていき、この2年で60人以上のママさんが参加



してくださいます。また、ひまわり児童館を利用した子ども服のリユース提供をきっかけに、ファミリーサポートさんと児童館の先生方のご理解とご協力を得て、毎月のおしやべりテラスの際にリユース品を展示してもらえるようになりました。本当に有り難いことです。



何があつたら子育てが楽しくなるかな、ママにとって何が必要かな、「ないなら作ろう!」という気持ちの下、楽しく活動を続けています。幸せな時間だけでなく、大変な時やしんどい時がある子育て。そんな時に、少しでも息抜きできる場、仲間作りができる場を作っていました。



## 編集後記

議員任期の4年間の終わります。また、現在の議会広報編集委員会(2年任期)で編集する「議会だより」も今回が最後となります。

コロナ禍で、町民の皆さまの生活様式が大きく変わり、不安やストレスの中での生活を余儀なくされました。

議会広報編集委員会も感染防止に気を遣いながら、さまざまな議論をし、より読みやすい紙面となるよう心がけました。

次回号は、新しい編集委員となり、更に読みやすい「議会だより」になると思っていますので、ご期待下さい。  
ご愛読いただき有り難うございました。

岡島 剛

## 表紙のコメント

3月15日、町制50周年記念事業として「おしやべりテラス+」が開催されました。子どもの笑顔の写真やイラストなどで世界に一つだけのオリジナル缶バッジを作った楽しみました。

## 広報編集委員

- 委員長 山本 亮介
- 副委員長 作野 桂子
- 委員 岩村みゆき  
柴田賢一  
岡島 剛

## 寄付行為の禁止

議員はお祭りへの寄付や町内会の催しものへ差し入れすることを禁止されています。有権者が求めてもいません。ご理解をお願いします。

## 次回定例会の予定

- 6月 5日(月) 開会・議案説明
- 12日(月) 一般質問
- 13日(火) 議案質疑
- 14日(水) 福祉建設委員会
- 15日(木) 総務文教委員会
- 16日(金) 討論・採決・閉会

開始時間は午前9時30分から(最終日は午後1時30分から)です。議事の都合により、日程が変更になる場合があります。